

時代の波に乗った収納家具で、快適なオフィス環境を支える

昭和31年創業のオフィス収納家具メーカー、ダイシン工業。昭和35年に守口市へ本社工場を移転後、事務用書類入れ「ファイリングキャビネット」でJISマーク表示認証を取得し、事業を軌道に乗せる。平成元年の鈴鹿工場竣工と同時に配送センターも設置したことで、よりスムーズな出荷が可能となった。平成11年にはISO9001認証を取得し、現在は製造を鈴鹿工場に一本化。時代と社会のニーズに合わせた、オフィス家具や工場用家具などを展開している。

住 所 | 〒570-0011 大阪府守口市金田町3-60-15
TEL | 06-6901-5551 FAX | 06-6901-5552
創 業 | 昭和31年2月 設 立 | 昭和34年8月
資本金 | 9,800万円 従業員 | 100名
H P | <https://www.daishinkogyo.co.jp/>

■主な事業内容

オフィス用、工場用、医療用、鋼製家具の製造・販売

■主な取引先（納品先）

官公庁・一般企業・医療施設・福祉施設など



極み

使用先の状況に 配慮した豊富な 製品バリエーション

オフィス用収納家具のほか、工場用家具や医療用収納家具など、バリエーション豊富なラインナップが同社の特長だ。近年ではクラウドファンディングに取り組み、個人向け商品にも注力。設計から製造まで一貫して手がける強みを生かし、OEMにも対応している。

取り組み

環境負荷軽減を 実現するため随時 新たな取り組みを導入

生産工程の環境負荷低減のため、鈴鹿工場では最新型のボイラーやコンプレッサーの導入、屋根の遮熱塗装や太陽光発電設備の設置、粉体塗装設備の導入による大幅な排水削減などを実施。環境負荷を減らす改善努力を続け、人と環境に配慮した企業活動に取り組む。

今後の展開

オフィス商品で培った 実績を一般家庭向け 商品にも展開

これまで蓄積したノウハウを生かし、一貫生産体制をさらに強化。幅広いニーズに対応すべく、新たな設備の導入を図っている。DtoC事業の拡大にも注力し、海外の展示会にも積極的に足を運び市場ニーズをリサーチ。家庭向けの商材展開を充実させていく予定だ。

ダイシン工業株式会社

WEBサイト



代表取締役社長

鶴見 哲男 さん

市場ニーズに対応できる技術力と 楽しく仕事できる環境作りを重視

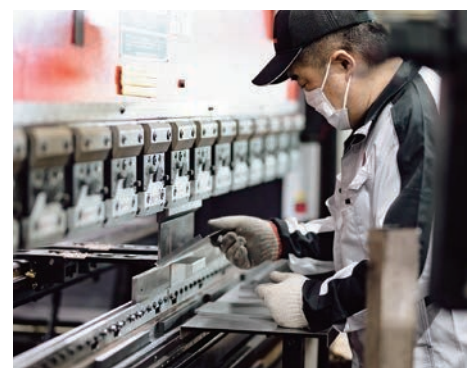
当社は創業以来、高品質の収納家具に特化した研究開発に努めてきました。現在は、オフィス・工場・医療など広い分野に多様な製品を提供しています。

仕事をするうえで私が大切にしている判断基準は、「その仕事が好きかどうか」です。自分が楽しいと思える仕事であれば、改善や提案、新たな挑戦への意欲が自然と生まれます。

今後も、仕事を楽しみながら常に挑戦です。多様化・複雑化する市場ニーズに対応できる力を磨き、家具を通じて快適な環境づくりを追求します。そんな仕事の楽しさを、次世代にも伝えていく所存です。



レーザー複合機のオペレーション風景



鉄板を曲げる工程の様子

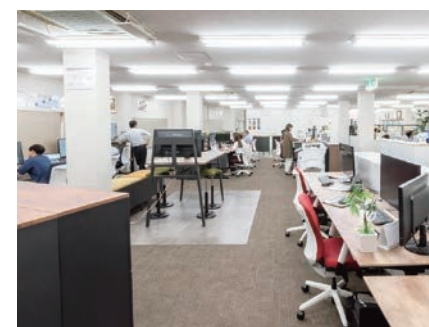


家具の溶接工程の様子

ポイント

福利厚生・働く魅力 職場環境

実直な取り組みを 継続することで 離職者ゼロを実現



20代から50代まで幅広い世代の従業員が在籍する当社では、子育てや通院などを支援する時差出勤制度の導入、年間休日120日の確保、オフィスリニューアルによる作業スペースの拡大、事務所内へコーヒーマーカーやBGMの導入といった、さまざまな福利厚生施策が行われている。バーベキューやスポーツ大会など、従業員の親睦をはかるイベントも定期的に開催中だ。

このような、従業員の立場に立った労働環境改善を積み重ねた結果、ここ数年は離職者ゼロを継続。従業員側から労働改善の提案も活発に出てくるようになったというエピソードからも、職場環境の良好さが伺える。